

1. 評価結果概要表

作成日 2007年10月9日

【評価実施概要】

事業所番号	2990500015
法人名	社会福祉法人 三養福祉会
事業所名	グループホーム 檀原の郷
所在地	奈良県檀原市飯高町7-1 (電話) 0744-21-1200

評価機関名	奈良県国民健康保険団体連合会
所在地	檀原市大久保町302-1
訪問調査日	平成19年6月18日

【情報提供票より】(19年 5月 31日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 18年 8月 10日
ユニット数	1 ユニット
職員数	12 人
利用定員数計	9 人
常勤	3 人, 非常勤 9人, 常勤換算 9人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り
	3階建ての 1階 ~ 部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	90,000 円	その他の経費(月額)	68,000 円
敷金	150,000		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有150000円 無	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1160 円		

(4) 利用者の概要(5月31日現在)

利用者人数	9名	男性	1名	女性	8名
要介護1	6名	要介護2	3名		
要介護3		要介護4			
要介護5		要支援2			
年齢	平均 81歳	最低	74歳	最高	84歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	平成記念病院
---------	--------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

檀原市の西方、幹線道路の間近か、水田に面した3階建ての特別養護老人ホームの1階に併設されているグループホームです。現在2ユニットのうち1ユニットが稼働し、7月からは2ユニット目の稼働の準備が進められています。落ち着いた雰囲気の中庭(中庭)を挟んでデイサービスのフロアがあり、ドアを通じて、利用者はデイサービスの機能である「準天然温泉」や「カラオケルーム」を楽しむことが出来ます。ゆとりのあるテラスに面した居室もゆったりとし、それぞれ思い思いの生活空間を作られて、穏やかで自然体のスタッフの見守りのもと、個性を發揮して生活しておられます。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>新設後1年未満のため、過去に外部評価の受審はなく今回が初めてです。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>運営者は他府県の事業所での経験を持っておられ、評価を前向きに生かしていきたいという姿勢を持って臨まれており、自己評価に取り組み過程でホームの理念の具体化(分かりやすい表現)を全職員で検討されています。</p>
	<p>重点項目</p> <p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議は、日々の介護の状況、日常業務の問題点をスタッフ会議で話し合い解決していること等を報告し、会議にはより多くの人の参加を呼びかけるよう意見があり、実施に向けて検討されています。今後は、評価の結果について会議で報告し、意見をもらう等、サービスの向上に生かされるよう期待します。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>家族の訪問が多く、その際に暮らしの様子や状況を伝え、意見・要望を聞くなど、直接情報交換をされています。また、運営推進会議にも家族の代表が参加しておられます。現状では、家族の訪問時に口頭で伝えられていますが、請求書を送ったり手渡しされる時に、定期的にホームのニュースやご利用者の生活の様子の写真などを添えられては如何でしょうか。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>特別養護老人ホームの1階に併設されているという特徴を生かして、地域に還元できる地域密着型サービスをめざしておられます。運営推進会議に自治会役員の参加もあり、地域の一員として、今後施設全体の行事を計画し、相互交流の推進を検討されています。</p>

2. 評価結果 (詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人として「安心・安全・安息」という理念を持っておられますが、今回自己評価の取り組みの中で、管理者を中心にスタッフみんなに具体的な分かりやすい表現を提案しあい、「その人らしい生活を営んでいただけるよう、私たちは利用者様に寄りそうケアをしていきます」と決められています。		利用者が地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、地域密着型サービスの役割を理解し、果たすべき役割を反映した理念を検討されることが望まれます。
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎日の30分ミーティングを含め、月1回の全体会議でも話し合う機会をもたれています。		スタッフの介護のよりどころとして理念を、ホーム内に掲げられては如何でしょうか。
2. 地域との支えあい					
	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	特別養護老人ホームの建物の中にあるという特徴があり、その中で「グループホーム」として認識してもらう難しさがある反面、合同の行事に参加してもらったり、運営推進会議への自治会長の参加を得ながら、一步一步取り組まれています。		地域密着型として、グループホーム独自に、地域との交流を積極的に取り組まれることが望まれます。
	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者は他府県の事業所での経験を持っておられ、評価を前向きに生かしていきたいという姿勢を持って臨まれており、自己評価に取り組む過程でホームの理念の具体化(分かりやすい表現)を全職員で検討されています。		
	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、日々の介護の状況、日常業務の問題点をスタッフ会議で話し合い解決していること等を報告し、会議にはより多くの人の参加を呼びかけるよう意見があり、実施に向けて検討されています。		今後は、評価の結果について会議で報告し、意見をもらう等、サービスの向上に生かされるよう期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	特別養護老人ホームへの市の指導の際に、意見を聞く機会を持っておられます。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	3ヶ月ごとのケアプランの見直しの際に、金銭管理の報告も含めて報告されています。状況の変化があった場合は、その都度連絡されています。		現状では、家族の訪問時に口頭で伝えられていますが、請求書を送ったり手渡しされる時に、定期的にホームのニュースやご利用者の生活の様子の写真などを添えられては如何でしょうか。
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	管理者を始めスタッフは親しみやすく、気軽に声を掛けられるような雰囲気作りに留意されています。出された意見は、ホーム内の運営会議で報告され、改善に取り組まれています。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	開設されてから10ヶ月余りで、スタッフの交代が無く、顔馴染みの職員のケアを心がけておられます。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎日の30分ミーティングを、最大限活用し、2週間毎のケア評価、モニタリング、3ヵ月毎のケアプランの見直しをされることが、トレーニングの一環となっています。また、最近、月1回の全体会議を始めておられます。		今後は、スタッフに外部研修の機会や、定期的な内部研修を継続維持しやすいような 取り組み をされるよう期待します。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	大規模施設であり、複数の事業が展開され、内部での交流の機会は考えられますが、同業者との交流としては、現状ではケアマネジャーに限られています。		スタッフが、市内にあるいくつかのグループホームなどとの交流を経験できるような 取り組み がされるよう期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	見学の時に、本人が希望すれば、一日をホームで過ごせるようにする等、馴染めるよう工夫されています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	利用者同士のトラブルの時など、傍で見られる利用者が「負けるが勝ち」などと喧嘩されて、なるほど・・・と教えられたというエピソードを聞きましたが、横並びの目線でケアされておられる様子が伺えます。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	利用者同士の話の中から何を思っているかなど各スタッフが一人ひとりの希望や、意向の把握に努められています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	本人や家族には日頃のかかわりの中で、思いや意見を聞き、反映するようスタッフ全員で話し合い、介護計画を作成されています。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	2週間毎のケア評価、モニタリング、3ヵ月毎のケアプラン見直しがこまめにされ、面会時の家族との話し合いと共に現状に即した計画が作成されています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	温泉好きの利用者は、毎日でも、隣接施設の「準天然温泉」を利用したり、また、希望者には「回転すし」や「大衆演劇」などの外出支援がされています。		本人と家族の暮らしの継続性を守るための多機能性を活かした柔軟な支援が望まれます。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	特別養護老人ホームに診療所が併設されており、毎日午後回診がありますので、必要な医療が受けられる体制になっています。また、個別の希望によっては、家族が馴染みの医療機関への受診付き添いをされています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ホームの方針として、介護1・2程度までの利用者を想定し、車椅子を必要とする身体機能の低下や重度化については、早期の時点で、特別養護老人ホームへの入所などを検討されます。これらの方針については、事前の入所相談の段階で、家族・本人に説明され、その理解の上で入所されています。		入所時に同意が得られていますが、一度方針を決めても、本人と家族の思いは常に揺れ動きます。本人、家族、ホームの状況変化に応じた話し合いと段階的な合意を図ることが望まれます。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者への言葉遣いは、ごく自然に適切な対応がされています。また、記録などの備品の管理もロックが掛る収納棚に管理されています。。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴は通常は昼前にデイサービスの温泉を利用することとされていますが、夕方の希望者にはホームで利用する等、利用者の希望に合わせた支援がされています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	朝と昼は、特養と同じ調理されたものが運ばれます。夜については、ホーム独自の献立になっており、夕食の片付けなどの場面で、利用者の参加が図られています。		朝と昼は調理されたものを利用されていますが、「食」を通じた様々な取り組みを活かすためにも、あり方を検討されることが望まれます。また弁当持参のスタッフがおられますが、ホームの特性を踏まえ利用者と同じものを楽しく食べることが大切ではないでしょうか。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ユニットに個別浴室があり、時間帯の希望に応じる用意はされています。他方隣接するデイサービスに「準天然温泉」があり、デイサービスの合間を活用して昼間という制限はありますが、風呂嫌いだった方も「温泉」に惹かれて毎日のように入るようになられるなど、結果として全員が、利用されています。		入浴という行為は特に利用者の習慣や希望に多様性があり、地域密着型としてのホームは、それまでの生活の継続性を確保することが求められていますので、個別にあった入浴の支援が行えるよう工夫することが望まれます。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	野菜や花を育てたり、草取り水遣りができるようにする等、利用者の経験や知恵を発揮する場面づくりがなされています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近隣に、障害者作業所があり、散歩で出かけて交流したり、毎日のように近所に出られています。また、ホームから離れたところへは、車になりますが、買い物や娯楽など希望にあわせて外出されています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホームの入り口に鍵はかけられていません。チャイムは設置されていますが、1人で出かけていく傾向のある利用者については把握され、スタッフ間の目配りで、気配を感じたら適宜対応されています。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、総合的な訓練と夜間想定訓練を計画されています。5月に避難訓練を実施しておられ、消防署員からのアドバイスについては欠席者に伝達しておられます。備蓄については、準備し保管されています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事では、スタッフが各テーブルについて状態を把握し、食事量や水分量を記録し、職員が情報を共有できるようにされています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	広いリビングには畳のコーナーがあり、洗濯物たみなどにも活用されています。自然光の入るキッチン是对面式でスタッフと利用者の共同作業がスムーズに出来るようにする他、中庭は出入りが自由で、金魚にえさをやることも出来るようにされています。なおテラス側には、土いじりが出来る空間があり、季節の花や野菜を育てる等、生活感や季節感を採り入れて居心地よく過ごせるよう工夫されています。		坪庭があり、また、風通しのよいテラスなど、全体としてゆったりとした空間がありますので、そうした空間にベンチやソファがあると、一層居心地のよい場所が出来るのではないのでしょうか。
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室は、収納スペースがたっぷりあり、風通しよく、優れた環境が保たれています。		入居前に家庭訪問をする等、在宅時の生活ぶりを把握し、馴染みの家具や物品等を持ち込み、その人らしい居室になるよう、家族に働きかけるなどされては如何でしょうか。